



きいんぐみだより

2025年度 5月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

新しいクラスがスタートして1か月が経ちました。子どもたちの会話の中に、「もうきりんさんだから」という言葉が出てきていて、進級したことでやる気や自信につながっているように感じています。引き続き、子どもたちの気持ちを盛り上げながら、楽しく過ごしていきたいと思います。また、今月には懇談会もあります。新年度の子どもたちの様子をお伝えし、1年間の見通しを保護者の皆さまと共有したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

給食の様子

きりん組に進級したことで、今までの自分たちでおこなっていた副菜、フルーツに加え、汁物、白米、主菜の盛り付けをおこなうようになりました。自分たちで盛り付けができるようになり、いつもよりもおかわりが進んでいるように感じます。また、こあらぐみを食堂として食事をする日も増え、新鮮な気持ちで食事ができるようになっていきます。今後も自分でできることを増やしていきながら、「できた!」という達成感を味わいながら、自己肯定感に繋がれるようにしていきます。

こいのぼり制作

折り紙を用いてこいのぼり制作をしました。どのように作るか子どもたちに相談した際に、「折り紙で作ってみたい」「ハサミを使いたい」というリクエストがでてきました。条件に合った製作を提案すると、「作ってみたい!」と目を輝かせる子どもたちでした。12色の折り紙から好きなものを選び、集中して折り始めました。また、ハサミを使う際には「こうだよね?」と友だちや保育者に持ち方を確認しながら安全に持つことができました。

自分でできるよ!

週明けの月曜日、保育者が布団カバーに子どもたちのシーツを用意していると、「自分でできるよ!」と頼もしい言葉が聞こえてきました。そのまま子どもたちにお願いをすると、自分たちでシーツを掛け、布団を畳み押入れに片づけることができました。途中でうまくシーツを掛けられなくて、困っているお友だちを見かけると、「手伝ってあげるね」「ここを引っ張るんだよ」と優しく教えながら協力し合う様子が見られました。身のまわりの支度や始末を自分でできるように方法を伝え、見守っていきたいと思います。

レールトイ・ブーム

室内の遊びではレールトイがブームです。最初は自分たちで作ったコースではボールがゴールまで辿りつかず、保育者が用意したコースで楽しんでいました。次第に、説明書を見ながら自分たちで上手に組めるようになり、自分たちで作ることの面白さを実感し始めたようです。「次はぐねぐね道を入れてみよう」「もっと長くしよう」と思い描いたコースを作るために、毎日工夫しています。レールトイは空間把握力や思考力が身につくと言われています。引き続き、遊びの中でさまざまな力を身に付けて欲しいと思います。